

気高電機株式会社



事例 補助金と税制優遇のセットで投資回収年数を大幅短縮！
発電出力100kWの自家消費型太陽光を導入！

- 所在地：鳥取市気高町宝木1561-8
- 代表取締役：羽馬好幸
- 事業概要：
大手家電メーカーのOEM(受託生産)、
ODM(開発～生産の受託)



Q. 再エネ設備を導入したきっかけは。

A.これまで、大型成形機の電動化など様々な省エネ対策に積極的に取り組んできました。しかし、電気料金の高騰などを踏まえ、残るは再エネしかないと考え、数年前から検討していた自家消費型の太陽光発電設備を2024年7月に導入しました。

Q. 導入した設備を教えてください。

A.本社工場の屋根上約1,000㎡を使用して、発電容量100kW(パネル容量131kW)の設備を導入しました。想定年間発電量は約13万kWhで、工場の年間電気使用量の約5%をまかなうことができる計算です。自家発電する分、買ってくる電気が減るので、電気代が年間350～400万円程度削減可能で、CO₂に換算すると65トンに相当します。特に年間で1番電気を使う夏場の電力の「消費ピーク」と、太陽光発電設備が最も発電する「発電ピーク」が重なるので大きな効果を実感できました。最大需要電力(最大デマンド値)の抑制効果があることもメリットです。



▲本社工場に導入した太陽光発電パネル



鳥取県・企業の脱炭素経営促進事業／県内企業の取り組み事例

トットリパワー!

支援制度やその他の事例は
ホームページをご確認ください



Q. 導入に踏み切ったポイントの補助金は。

A.県と市の両方の補助金が受けられたのは非常に大きかったです。難しい書類も不要で申請手続きはスムーズでした。法人税の即時償却制度を活用したこともポイントの一つです。補助金と税制優遇のセットで投資回収年数の短縮につながりました。3年半～4年での回収を見込んでいます。

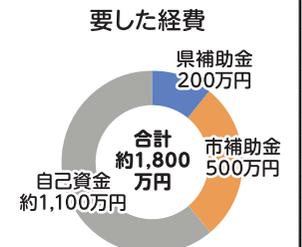
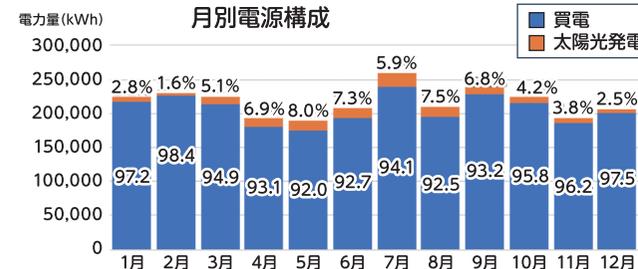
Q. 今後取り組みたいことは。

A.導入した太陽光発電のデータをしっかり取って効率よく運用していきたいです。課題は冬場のエネルギー確保をどうするか。積雪があると発電しないので、壁面にも設置可能だと言われているペロブスカイト太陽電池や設置スペースに困らない小型化された蓄電池など、最新技術の実用化にも期待しています。



▲製造技術部の宗行課長

太陽光発電導入による効果



活用した補助金・支援制度：鳥取県 再エネ100宣言RE Action推進事業補助金、
鳥取市 再エネ・省エネ設備導入補助金、中小企業等経営強化法に基づく支援措置